

『前進的に種を蒔く ～ 流行を作れ！ ～

2023 年 8 月 21 日 恵泉女学園（世田谷区）の役員懇談会・理事会に赴いた。

『役員懇談会』では、外部講師による『私立学校法改正について』の講演であった。日々勉強である。

筆者は、2021 年 7 月 1 日、新渡戸稲造（1862-1933）から学んだ河井道（1877-1953）が、初代学園長である恵泉女学園の 9 代目理事長を拝命することになった。恵泉女学園中学・高等学校は、河井道によって 1929 年に創立されている。河井道は『わたしのランタン』という著書の中で、『前向きで、前進的であること』を信条として掲げている。

人間は、自分では『希望のない状況』であると思ったとしても、『人生の方からは期待されている存在』であると実感する深い学びの時が与えられている。現代は、『表面的なhappy』vs 『内から湧き出るjoy』の違いの考察の時ではなかろうか！？

女子教育に 大いなる理解を示した新渡戸稲造（東京女子大学 初代学長）が、河井道（恵泉女学園 創立者）、津田梅子（1864—1929；女子英學塾 創立者）、安井てつ（1870-1945；東京女子大学 第 2 代学長）を 援護した三人に共通するのは『洗練された自尊心』の人格像であると考え。まさに、『種を蒔く人になりなさい』の実践であろう。

#### 「教育」の3カ条

- 1) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む「具眼の士」の種蒔き
- 2) 軽やかに、そしてものを楽しむ。自らの強みを基盤とする。
- 3) 自分のオリジナルで流行を作れ！

2020 年春、『新型コロナウイルス』の世界的な流行がきっかけで、あらためて、『人と人が生きるということ』、『人として生きるということ』について考えさせられたものである。